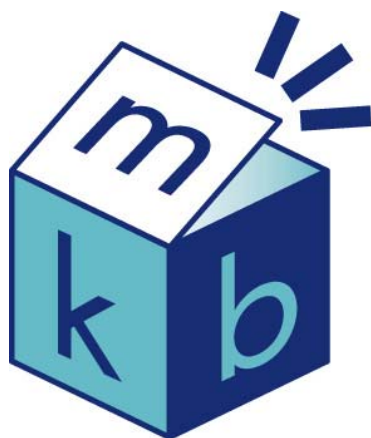




株式会社メディア工房
(Media Kobo Inc.)

平成28年8月期
決算説明会

<東京証券取引所マザーズ 証券コード：3815>

Media Kobo, Inc. All Rights Reserved



CONTENTS

決算概要

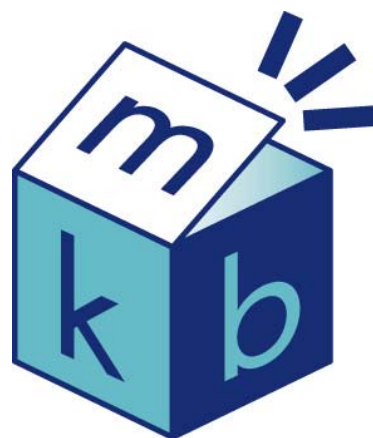
総括	4 P
財務状態	6 P
経営成績	7 P
セグメント別経営成績	8 P
各事業部経営成績	9 P

事業戦略

平成29年8月期 通期業績見通し	14 P
占いコンテンツ事業	15 P
電話占い事業	17 P
ゲームコンテンツ事業	18 P
その他（O2O事業他）	20 P

その他会社に関する情報

会社概要	22 P
株主構成	23 P
株価推移	24 P



決算概要



全社的な活動内容

- OBOKAID'EM並びにブルークエストの立て直し
- Licie、omotano、girls be の見直し
- 不採算事業の撤退
- 各事業における方針・人員配置の見直し
- 子会社設立・事業譲受を含むゲーム事業の再構築
- LINE（※）「トーク占い」へのサービス提供に向けた体制整備
- AI、AR技術等の新規事業への先行投資
- 占いコンテンツの海外展開
→ Click108（台湾）へのコンテンツ配信
- プロモーション体制の見直し



第20期に向けた足元固め

※「LINE」…LINE社が提供するコミュニケーションアプリ



減収減益となった要因

- ゲームコンテンツ事業における開発遅延によるリリース遅れ
- 配信済みゲームタイトルの売上低調
- 体制変更に伴うリリースタイトルの見直し
- omotano、Licie 等 O2O 事業の赤字化
- コンテンツ 1 つあたりの短命化
- 大ヒット占いコンテンツの不在
- フリーミアムモデルへの移行に伴う会員数の更なる減少
- 不採算事業撤退、一部関係会社の評価の見直しに伴う特別損失計上



各事業において施策を打ちたて
第20期 増収増益に





財務状態

■ 連結貸借対照表 ■

(百万円)	平成27年8月期	平成28年8月期	増減額	増減率
流動資産	2,532	2,306	▲ 226	▲ 8.9
有形固定資産	311	280	▲ 31	▲ 10.1
無形固定資産	243	322	79	32.7
投資・その他の資産	338	351	13	4.0
資産合計	3,425	3,260	▲ 164	▲ 4.8
流動負債	868	868	0	0.0
固定負債	518	596	77	14.9
負債合計	1,387	1,464	77	5.6
純資産合計	2,038	1,796	▲ 242	▲ 11.9
負債純資産合計	3,425	3,260	▲ 164	▲ 4.8

■ 資産の部

- ・ 現金及び預金及び売掛金252百万円の減少
→ 売上の減少
- ・ 無形固定資産79百万円の増加
→ ゲームソフトウェア仮勘定111百万円の増加
- ・ のれんの償却及び減損70百万円の計上
→ ブルークエスト社の見直しに伴う減損

■ 負債の部

- ・ 1年以内返済予定の長期借入金35百万円の減少
- ・ 長期借入金77百万円の増加

■ 純資産の部

- ・ 利益剰余金246百万円の減少

■ 引き続き安定的な無借金経営

- … 現金預金1,735 百万円：借入金1,291 百万円
- … 自己資本比率 53.8%（前期末：58.8%）

■ 高い支払い能力

- … 流動比率 265.5%（前期末：291.6%）



経営成績

■ 連結損益計算書 ■

(百万円)	平成27年8月期	平成28年8月期	増減額	増減率
売上高	2,427	1,940	▲ 487	▲ 20.1
売上原価	1,013	978	▲ 34	▲ 3.4
売上総利益	1,414	961	▲ 452	▲ 32.0
販売管理費	1,146	935	▲ 210	▲ 18.4
営業利益	268	26	▲ 241	▲ 90.3
営業外利益	8	2	▲ 6	▲ 71.5
営業外費用	60	88	28	46.8
経常利益又は損失	216	▲ 60	▲ 276	—
特別利益	30	15	▲ 15	▲ 49.6
特別損失	169	79	▲ 90	▲ 53.2
税引き前 当期純利益又は損失	76	▲ 124	▲ 201	—
親会社株主に帰属する 当期純利益又は純損失	86	▲ 139	▲ 225	—

■ 売上高の減少

→ 占いコンテンツ事業における
売上高の減少
→ 新規ゲームタイトルのリリース遅れ
並びに売上低調

■ 営業外費用

→ 貸倒引当金24百万円の計上
→ 19百万円の増加
→ 持分法による投資損失54百万円の計上

■ 特別損失の計上

→ Licie撤退に伴う損失17百万円の計上
→ ブルークエスト社の見直しに伴う
のれん償却額51百万円の計上



セグメント別経営成績

平成27年8月期 連結会計期間

(百万円)	コンテンツ事業		その他	調整額	合計
	占いコンテンツ	ゲームコンテンツ			
売上高	2,332	48	47	△0	2,427
営業利益（損失）	834	△138	△79	△348	268



平成28年8月期 連結会計期間

(百万円)	コンテンツ事業		その他	調整額	合計
	占いコンテンツ	ゲームコンテンツ			
売上高	1,844	76	19	－	1,940
営業利益（損失）	609	△109	△61	△411	26

- ※ 1. 売上高・営業利益とも、内部取引を含む数値を表示しております。
2. その他には主にO2O事業の売上が計上されております。
3. また、調整額の部分には全社的にかかる管理部費用等を計上しております。



占いコンテンツ事業 経営成績

- 台湾へのコンテンツ配信の好調
韓国でも順調に配信中
- 広告収入モデルの実現
- 大ヒットコンテンツの不在
- コンテンツ寿命の短命化
- フリーミアム化に伴う有料会員数の減少



減収減益

コンテンツジャンルの拡大

auスマートパス・ドコモスゴ得への占い以外のコンテンツ配信

中国・東南アジアを中心とした世界展開の加速

→ 売上減の底打ち、緩やかな回復の見込み



占いコンテンツ事業 経営成績 2

- 電話占いサービス「Lierre」の好調
- LINE占い（※）における売上増加
- LINE社サービス「トーク占い」への更なるコミッション
- 占い師約300人体制の構築



増収増益

**LINE「悩み相談所」「トーク占い」への
占い師提供を強化**

→ 引き続き増収増益を狙う

（※）LINE社が提供する占いサービス



ゲームコンテンツ事業 経営成績

- 新規タイトルのリリース遅れ
- 既存タイトルの売上低調
- 継続的な先行投資の積み重なり
- 体制変更に伴うリリースタイトルの見直し



営業損失の発生

子会社設立・事業譲受による 事業体制の変更

→ 受託による安定的な収益を確保しつつ
比較的低コストに新規タイトルを制作する体制へ



その他 経営成績

- 「omotano」の広告収入
- 「Licie」店舗サービスの不調
- 「girls be」の低調



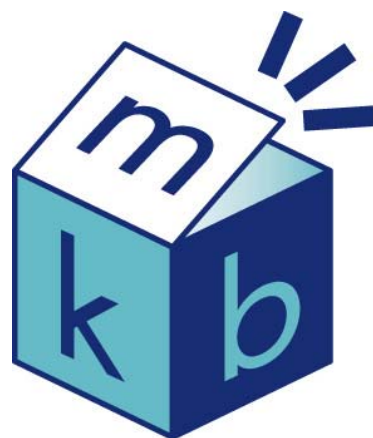
事業整理に伴う特別損失を計上

減収減益

各プロジェクトの見直し

「Licie」の事業提携の解消
「omotano」配信停止

→ 不採算事業からの撤退に伴う第20期における営業利益の回復



事業戦略



平成29年8月期 通期業績見通し

売上高	2,500百万円
経常利益	180百万円
営業利益	180百万円
当期純利益	108百万円

- 収益モデルの多様化・世界展開による配信網の拡大（占いコンテンツ事業）
- 電話占いサービスによる新規サービスの強化
- セカンダリー事業の安定的収益（ゲームコンテンツ事業）
- 国内課金ゲームのリリース（ゲームコンテンツ事業）
- 資産の見直し・資金の潤沢化
→ 一部固定資産の売却



占いコンテンツ事業（1）

占いコンテンツ事業においてNO1企業を目指す

ヒットコンテンツを
生み出すための体制整備



占いコンテンツ事業の
2事業部を1事業部に統合

配信数や人員配置の見直し

新規コンテンツの
企画・制作時間を拡充



大ヒットまでは伸びずとも、
久方ぶりに長期中ヒットとなったコンテンツ

10万人絶叫・伝説級の的中力！
バケモノ霊能者・育代



他にも人気占い師のコンテンツがたくさん！



占いコンテンツ事業（2）

増加するライトユーザーに対する施策
フリーミアム化への対応

今冬！

【課金】

Apple/Googleへの占いコンテンツの
サブスクリプションサービス開始

モバイル向けコンテンツの新サービス開始予定

【広告】

App Store/Google Play Store向け
ライト系アプリのリリース

占いにゲーム性を追加
ユーザー自身の選択により結果を表示



「性格診断」という新たな観点
プロモーション戦略の再整備



ダウンロード数の増加
広告型収益モデルの導入並びに収益モデルの多様化



電話占い事業

「背中を押してくれる」占い

その人が抱える悩みや迷いごとを
解決する道標のひとつとしてのニーズ



サービス形態の拡充

悩みに幅広く対応できる質の高い
占い師の開拓・確保・育成

占いチャットサービス、
電話占いシステムの整備

LINEのトーク上で占い師に直接悩み相談ができる新サービス
「トーク占い」に当社仲介の**290名以上**の占い師が登場！

今後も占い師の仲介
&
良質なサービスの提供を強化



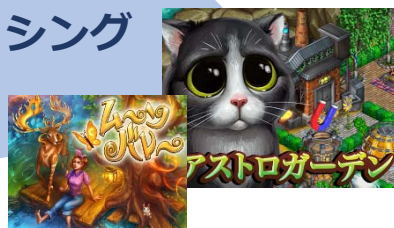


ゲームコンテンツ事業 新体制の確立



国内ゲームの海外配信

海外ゲームの国内パブリッシング



Blue Quest



LEWIS FACTORY

セカンダリー市場における運営受託
国内課金特化ゲームの配信





譲受事業の内容



LEWIS FACTORY

- ①セカンダリー事業
他社が開発したゲームの運営受託（※）



受託による
安定的な収益

- ②新規ソーシャルゲームの制作事業
①で運営移管したタイトルのIPを
活用して作成した国内課金特化の
新規タイトルを配信



課金・広告による
プラスの収益

売上高550百万円以上を想定

※他社開発の既存ゲームを購入して運営継続をさせる場合もございます。



その他（O2O事業他）

girls be

達成しやすい金額の設定

特徴あるプロジェクトの
企画・立案



達成件数の増加を図る



AR事業との連携



最先端技術に関連する事業への先行投資

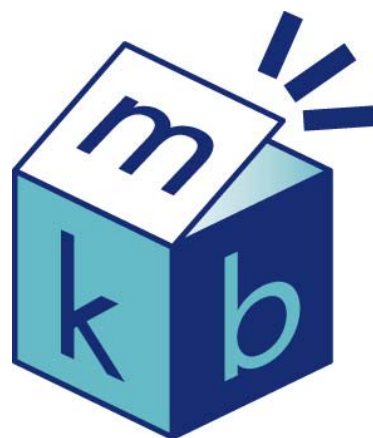


AR事業

AI事業



近日詳細発表！！



その他 会社に関する情報



会社概要

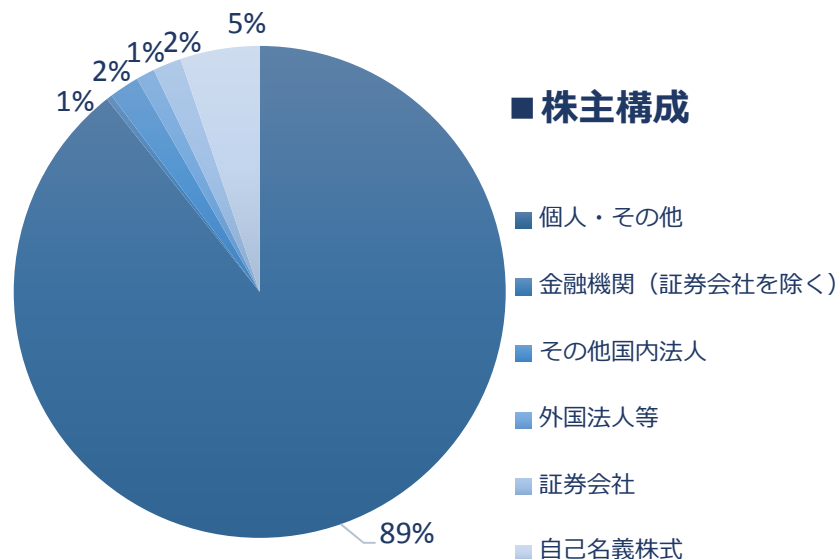
本社	東京都港区赤坂四丁目2番6号 住友不動産新赤坂ビル12階
設立	1997年10月
資本金	451百万円
従業員数	連結 116名（平成28年8月末 時点） 男女比 男4：女6
平均年齢	32.9歳（平成28年8月末 時点）
子会社	(株)ブルークエスト (株)ギフトカムジャパン (株)ルイスファクトリー
上場市場	東証マザーズ（3815）
事業内容	コンテンツ制作・配信事業 各種メディア事業 他





株主構成

■ 株主構成と所有者別株式分布状況（平成28年8月末時点） ■



■ 株主の状況

総株主数	4,688人
1単元以上の株式を所有する株主数	4,748人

※平成27年8月期末の総株主数は4,137人

■ 株式の状況

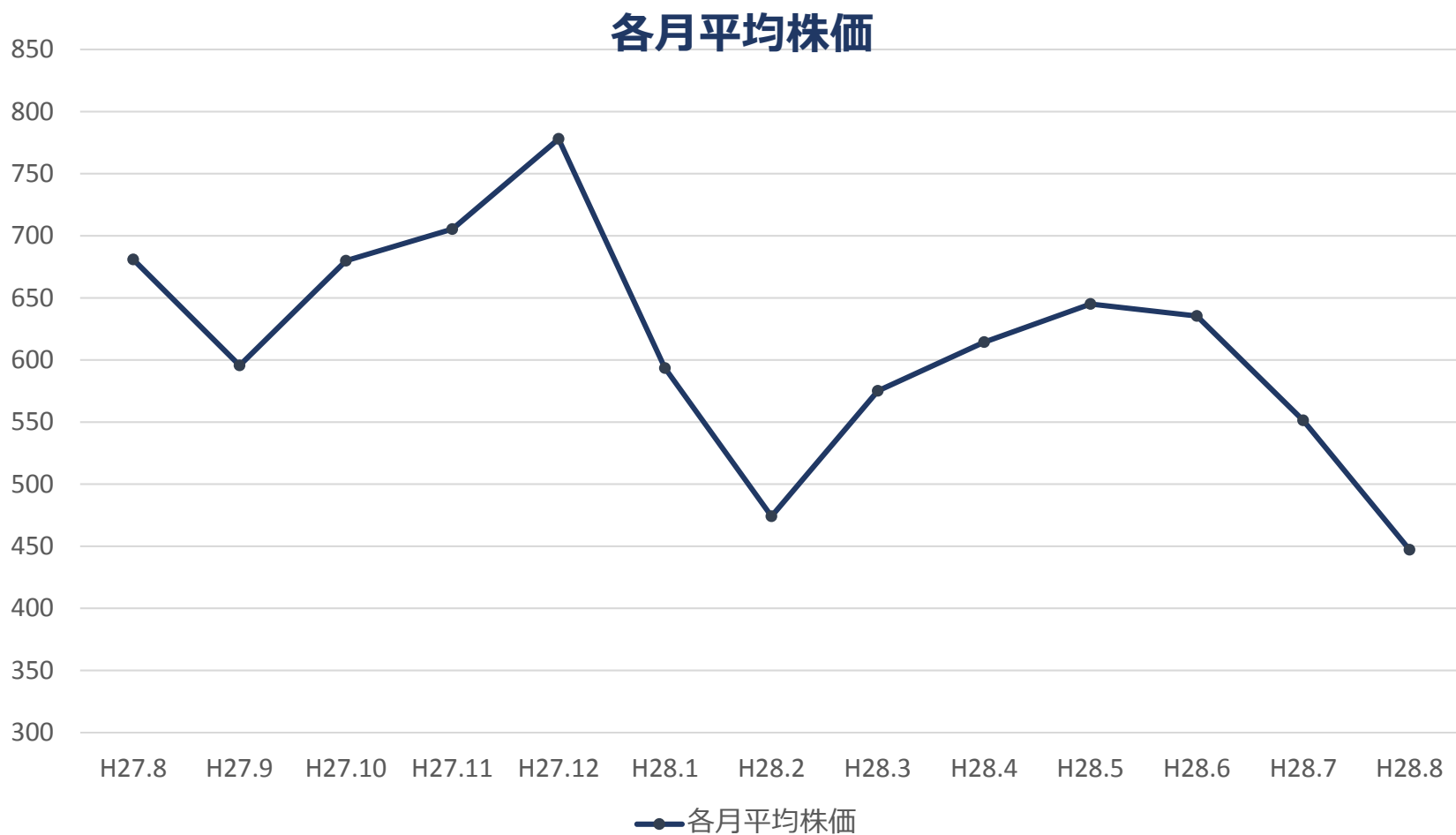
上場株式数	11,300,000株
自己株式数の合計	588,876株
役員の所有株式数合計	6,736,100株
流通株式数	4,500,524株
流通株式数比率	35.4%

■ 大株主の状況

株主名	所有持株数 (株)	所有株式数の 割合
長沢 一男	6,679,500	59.11%
株式会社メディア工房	588,876	5.21%
ニフティ株式会社	200,000	1.77%
長沢 敦子	188,000	1.66%
BNY GCM CLIENT ACCOUNT J PRD AC ISG (FE-AC)	69,700	0.62%
松井証券株式会社	53,400	0.47%
日本証券金融株式会社	43,100	0.38%
長沢 匡哲	40,000	0.35%
株式会社SBI証券	30,700	0.27%
林 靖	30,000	0.27%



株推移価（平成28年8月期）





本資料に関する注意事項

- 本資料は、当社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料に全面的に依拠した投資等の判断は差し控え願います。
- 本資料は、正確性を期すために慎重に作成しておりますが、安全性を保証するものではありません。本資料中の予測や情報によって生じた損害等については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本資料に記載された意見や予測等の情報は、本資料作成時点の当社の判断によるものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変更等の様々な要因により、実際の業績及び記載されている将来の見通しとは乖離が生じることがありますのでご了承ください。

【本資料及び当社に関するお問い合わせ先】

株式会社 メディア工房

管理部 経営企画チーム

TEL 03 - 5549 - 1804

FAX 03 - 3586 - 4480

<http://www.mkb.ne.jp>